



## 連絡先

---

次の各項を参照してください。

- [連絡先の検索 \(P.4-2\)](#)
- [連絡先の新規作成 \(P.4-3\)](#)
- [連絡先の基本情報の編集 \(P.4-4\)](#)
- [代行ユーザ名の編集 \(P.4-5\)](#)
- [SMTP プロキシアドレス \(P.4-6\)](#)

## 連絡先の検索

表 4-1 [連絡先 (Contacts)] ページ

フィールド	説明
[検索の対象を制限 (Limit Search To)]	<p>検索結果の表示を絞り込むための基準を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>[すべて (All)] : 所属する Cisco Unity Connection ロケーションまたはパーティションにかかわらず、検索結果をすべて表示します。</li> <li>[ロケーション (Location)] : (スタンドアロン構成の場合のみ) 特定の Connection ロケーションに所属する結果だけを表示します。このオプションを選択する場合は、[名前 (Where Name Is)] リストでロケーションの名前を選択します。</li> <li>[パーティション (Partition)] : 特定のパーティションに所属する結果だけを表示します。このオプションを選択する場合は、[名前 (Where Name Is)] リストでパーティションの名前を選択します。</li> </ul>
[選択項目の削除 (Delete Selected)]	オブジェクトを削除するには、オブジェクトの表示名の左側にあるチェックボックスをオンにし、[選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。複数のオブジェクトを同時に削除できます。
[エイリアス (Alias)]	(表示のみ) ユーザ、同報リスト、システム連絡先、個人のグループ、またはシステム内のその他のオブジェクトの一意テキスト名。
[DTMF アクセス ID (DTMF Access ID)]	(表示のみ) 電話システムがオブジェクトへの接続に使用する内線番号。
[名 (First Name)]	(表示のみ) ユーザまたは連絡先の名。
[姓 (Last Name)]	(表示のみ) ユーザまたは連絡先の姓。
[表示名 (Display Name)]	(表示のみ) オブジェクトの名前。このオブジェクト固有のページに移動するには、[エイリアス (Alias)] をクリックします。

### 関連情報

- 『Cisco Unity Connection ユーザの移動、追加、変更ガイド』の「[連絡先の管理](#)」の章

## 連絡先の新規作成

表 4-2 [連絡先の新規作成 (New Contact)] ページ

フィールド	説明
[エイリアス (Alias)]	ユーザ、同報リスト、システム連絡先、個人のグループ、またはシステム内のその他のオブジェクトの一意テキスト名。
[名 (First Name)]	ユーザまたは連絡先の名。
[姓 (Last Name)]	ユーザまたは連絡先の姓。
[表示名 (Display Name)]	<p>オブジェクトの識別に役立つ名前を入力します。</p> <p>ユーザ、連絡先、および同報リストの表示名を入力するときは、次の点を考慮してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表示名に特殊文字や発音区別符号が含まれている場合は、音声認識カンパセーションで表示名の認識に問題が発生することがあります。</li> <li>ユーザ、連絡先、または同報リストに名前の録音が存在しない場合、Cisco Unity Connection は、表示名（または姓と名の組み合わせ）を再生しようとします。</li> </ul>
[連絡先テンプレート (Contact Template)]	新しい連絡先の基礎となるテンプレートを選択します。

### 関連情報

- 『Cisco Unity Connection ユーザの移動、追加、変更ガイド』の「[連絡先の管理](#)」の章

## 連絡先の基本情報の編集

表 4-3 【連絡先の基本情報の編集 (Edit Contact Basics)】 ページ

フィールド	説明
[エイリアス (Alias)]	ユーザ、同報リスト、システム連絡先、個人のグループ、またはシステム内のその他のオブジェクトの一意テキスト名。
[名 (First Name)]	ユーザまたは連絡先の名。
[姓 (Last Name)]	ユーザまたは連絡先の姓。
[表示名 (Display Name)]	<p>オブジェクトの識別に役立つ名前を入力します。</p> <p>ユーザ、連絡先、および同報リストの表示名を入力するときは、次の点を考慮してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表示名に特殊文字や発音区別符号が含まれている場合は、音声認識カンパセーションで表示名の認識に問題が発生することがあります。</li> <li>ユーザ、連絡先、または同報リストに名前の録音が存在しない場合、Cisco Unity Connection は、表示名 (または姓と名の組み合わせ) を再生しようとします。</li> </ul>
[音声名 (Voice Name)]	<p>これは、ユーザ、システム連絡先、同報リスト、またはハンドラの名前の録音です。ここで名前を録音できます。ユーザは、自己登録カンパセーション、設定オプション、または Cisco Unity Assistant を使用して名前を録音することもできます。</p> <p>ここで音声名を録音するには、Media Master を使用します。Media Master のオプションメニューにある [ファイルを開く (Open File)] オプションを使用し、あらかじめ録音しておいた WAV ファイルを録音として使用します。</p>
[ディレクトリに登録 (List in Directory)]	外部の発信者がユーザおよび連絡先にアクセスするときに使用できる宛先検索サービスに連絡先を登録する場合は、このチェックボックスをオンにします。
[パーティション (Partition)]	<p>オブジェクトの所属先となるパーティションを選択します。パーティションは、グループにまとめることでサーチスペースになります。サーチスペースは、Cisco Unity Connection との対話中にユーザまたは外部発信者が到達できるオブジェクト (ユーザや同報リストなど) の範囲を定義するために使用されます。ほとんどのオブジェクトは、1つのパーティションに限り所属できます。例外となるのはユーザで、1つのパーティションにプライマリ内線番号、別のパーティションに代行内線番号を持つことができます。パーティションは、複数のサーチスペースに所属できます。</p> <p>内線番号は、パーティションの内部で一意的になっている必要があります。パーティションは、関連する内線番号を持たないオブジェクト (一部の連絡先やシステム同報リストなど) を保持できます。</p>
[転送を有効にする (Transfer Enabled)]	連絡先に関連付けられている電話番号に Cisco Unity Connection が着信通話を転送するよう設定するには、このチェックボックスをオンにし、[転送先内線番号 (Transfer Extension)] フィールドに電話番号を入力します。
[転送先内線番号 (Transfer Extension)]	<p>[転送を有効にする (Transfer Enabled)] チェックボックスがオンになっている場合、Cisco Unity Connection は、このフィールドに入力されている電話番号に着信通話を転送します。</p> <p>電話番号を入力するときは、該当するアウトダイヤルアクセスコードを含める必要があります。</p>
[配信ロケーション (Delivery Location)]	VPIM 連絡先の VPIM ロケーションをクリックします。
[VPIM リモート メールボックス番号 (VPIM Remote Mailbox Number)]	リモート ボイス メッセージ システム上の VPIM 連絡先のメールボックス番号を入力します。

表 4-3 [連絡先の基本情報の編集 (Edit Contact Basics)] ページ (続き)

フィールド	説明
[ローカル内線番号 (Local Extension)]	VPIM 連絡先には、Cisco Unity Connection 内線番号の番号付け方式に適合するローカル内線番号を割り当てることができます。ローカル内線番号の割り当てにより、発信者は内線番号を使用してメッセージを VPIM 連絡先に宛先指定できます。連絡先のロケーション ID とリモート メールボックス番号を知っている必要はありません。  さらに、[転送を有効にする (Transfer Enabled)] フィールドと [転送先内線番号 (Transfer Extension)] フィールドを設定している場合、発信者が VPIM 連絡先を識別すること、発信者を VPIM 連絡先に転送することが可能です。
[ボイスコマンドを使用して連絡先にコールする電話番号 (Phone Numbers to Call Contact by Using Voice Commands)]	連絡先の電話のタイプを指定することにより音声認識ユーザがシステム連絡先に発信できるようにするには、[ダイヤルする職場の電話 (Dialed Work Phone)] フィールド、[ダイヤルする自宅の電話 (Dialed Home Phone)] フィールド、および [ダイヤルする携帯電話 (Dialed Mobile Phone)] フィールドを使用します。  ダイヤルする電話番号には、外部への通話および長距離電話のダイヤルに必要な追加の番号を含める必要があります (たとえば、外部への通話は 9、長距離電話は 1)。
[パーソナル着信転送ルールの連絡先を識別する電話番号 (Phone Numbers to Identify Contact for Personal Call Transfer Rules)]	ユーザのパーソナル着信転送ルールとシステム連絡先からの着信通話とを照合する場合には、Cisco Unity Connection が使用する電話番号を入力するには、[職場の電話 (Work Phone)] フィールド、[自宅の電話 (Home Phone)] フィールド、[携帯電話 (Mobile Phone)] フィールド、[別の電話番号 1 (Other Number 1)] フィールド、および [別の電話番号 2 (Other Number 2)] フィールドを使用します。

#### 関連情報

- 『Cisco Unity Connection ユーザの移動、追加、変更ガイド』の「[連絡先の管理](#)」の章
- 『Cisco Unity Connection システム アドミニストレーションガイド』の「[VPIM ネットワークの使用方法](#)」の章

## 代行ユーザ名の編集

表 4-4 [代行ユーザ名の編集 (Edit Alternate Names)] ページ

フィールド	説明
[名 (First Name)]	ユーザまたは連絡先の代替の名を入力します。代行ユーザ名については、姓と名を両方とも指定する必要があります。
[姓 (Last Name)]	ユーザまたは連絡先の代替の姓を入力します。
[選択項目の削除 (Delete Selected)]	オブジェクトを削除するには、オブジェクトの表示名の左側にあるチェックボックスをオンにし、[選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。複数のオブジェクトを同時に削除できます。

#### 関連情報

- 『Cisco Unity Connection ユーザの移動、追加、変更ガイド』の「[ユーザアカウントの設定によって制御される機能の設定](#)」の章の「[代行ユーザ名](#)」の項

## SMTP プロキシアドレス

表 4-5 [SMTP プロキシアドレス (SMTP Proxy Addresses)] ページ

フィールド	説明
[選択項目の削除 (Delete Selected)]	オブジェクトを削除するには、オブジェクトの表示名の左側にあるチェックボックスをオンにし、[選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。複数のオブジェクトを同時に削除できます。
[新規追加 (Add New)]	新しい SMTP プロキシアドレスを追加するには、[新規追加 (Add New)] ボタンをクリックします。[SMTP プロキシアドレス (SMTP Proxy Addresses)] テーブルに新しい行が表示されます。新しい行に SMTP プロキシアドレスを入力して、[保存 (Save)] をクリックします。
[SMTP プロキシアドレス (SMTP Proxy Address)]	ユーザまたは連絡先の SMTP プロキシアドレスを入力します。Cisco Unity Connection は、着信する SMTP メッセージの送信者と受信者を、プロキシアドレスを使用してユーザまたは連絡先にマッピングします。

### 関連情報

- ユーザについては、『Cisco Unity Connection ユーザの移動、追加、変更ガイド』の「ユーザアカウントの設定によって制御される機能の設定」の章の「SMTP プロキシアドレス」の項を参照してください。連絡先については、同じマニュアルの「連絡先の管理」の章の「SMTP プロキシアドレス」の項を参照してください。